



国政

刻々

寄稿



嘉田氏

1月18日から始まった通常国会前半の最大の課題は、新型コロナウイルス対策でしょう。なすのころらされます。滋賀県でも1月31日段、冥福をお祈り申し上げます。

ますと共に、今療養中の皆さんの一日も早い回復をお祈りします。大阪府、京都府、そして岐阜県が緊

急事態宣言地区に入り、抱えながら介護現場で不足、雇用も不安。そ出た感染者が首都圏西と東、両側から新型働く女性から「感染し、おこなうウイルスが迫って入院しないと罰則と場での声に配慮なく、きておりませんが、滋言わられても子どもを置きなり「入院拒否は刑罰」による与党の感染賀県では皆さんの感染して入院できない」と罰」という与党の感染防止のご協力や医療、いう声も伺いました。症法改正法案には、まる万が一の拡散防止に力介入現場などのご努力いざ感染したら入院でさ、に晴天の霹靂(へき)を入れるあまり、多くの国民の自主的な感染防止努力には目がいかず、暮らしや雇用の支援も不十分。女性の自殺率が滋賀県も急速に高まっております。コロナ禍の中で隠れてい

### 新型コロナ対策に罰則は必要か？

参議院議員 嘉田 由紀子

で、ギリギリ緊急事態宣言地区に指定されずにおります。しかし、お一人ずつの生活条件によって不安はさまざま先日も子どもさんを足、感染者への支援も確かに、病院から逃げ

きるのか、子どもやせ話をしている家族のこ要望」と総理などは国た弱者、格差解消支援会で答弁していただきました。今、国が進める辞めて」という声もあるが、知事会は刑罰までべき政策でしょう。国と云う。ベッドも不は求めていないという。会議論に向けて主張し